

口腔病理学分野

准教授 程 琚

本分野は、歯学部創立とともに1966年に故石木哲夫教授によって「口腔病理学講座」として開講され、1990年に朔 敬教授（現名誉教授・大阪歯科大学客員教授）が引き継いで2016年に定年退職し、現在後継教授の選考中です。大学院部局化にともない、「口腔病理学分野」の名称にかわり、歯学部・大学院医歯学総合研究科において病理学・口腔病理学に関する教育・研究・診断を担当してきました。本稿では、当分野の設立と発展に貢献された先達の先生方に敬意を表し、歴史を回顧しながら、本分野の現状を紹介させていただきます。

教育は「科学的根拠に基づいた歯科医療の実現できる人材を育成すること」を目標にして実践されてきました。歯学部3・4年生に対して、基礎的かつ臨床的な歯学基本科目の病理学・口腔病理学の講義・実習を行い、5年生では統合科目やPBLなどの分野横断的な授業に参加して、いずれも臨床応用を念頭においた教育を行ってきました。6年生ではわが国では初めて症例検討実習や臨床実習に病理診断学実習を取り入れ、歯学部卒業時には自ら細胞診検査ができ、病理検査依頼の技術が身につくカリキュラムが完成しています。同時に、2年生に対しては早期臨床実習で病理学の臨床面を啓蒙しています。近年では、病理学・口腔病理学実習にはバーチャルスライドシステムを導入し、講義ではクリッカーを用いて相互応答性のある授業システムも成功し、いずれも新潟大学授業改善プロジェクトに採択され、最先端の教育技術と評されているのはご周知のとおりです。一方、大学院博士課程学生の研究指導では、最近25年間に海外14カ国の留学生を含む45人の学生を指導し、博士の学位を取得させています。

研究においては、「病理学を総合的生命科学とすること」を目標にし、主に行われてきた内容は、

(1) 口腔領域ではもっとも頻度の高い口腔粘膜がんに関して、その発生の自然史を解明して異なる悪性段階の病理鑑別診断に応用する研究、(2) このためには、ヒト口腔扁平上皮癌から樹立した細胞株を用いて、増殖・浸潤・転移を制御している分子機構の解明を目指した研究を展開し、(3) 扁平上皮癌に加えて唾液腺腫瘍・歯源性腫瘍由来細胞を多数樹立し、それらの細胞をもちいて細胞外基質ECMを基軸に腫瘍増殖を制御している分子機構をマイクロレベルで解明し、さらに歯胚の発育機序とも関連づけ、(4) マクロの視点から口腔がんの発生要因を解明してその予防を目指した研究は、中国、台湾、インドネシア、ミャンマーのアジア諸国からエジプト、イエメン等の中東諸国との国際共同研究として、噛みタバコ習慣、ウイルス感染との関連を明らかにして展開しました。そのほか(5) 嚢胞性病変の鑑別診断法を確立する研究をはじめとして、多数の症例検討から疾患概念の確立に成果をあげました。これら研究成果は、国際専門誌に発表された多数の論文として記録され、今後もさらなる展開が期待されています。

臨床面、すなわち病理診断については、まず「病院内に病理検査部門を開設すること」を目標に開始してきたわけですが、それは、かつて歯学部附属病院には病理検査部門がなかったために病理診断は口腔病理学講座内で行われてきた経緯があるからです。いわば患者さんに研究室へ来ていただいていた格好でした。1992年に、当時の病院長・故原耕二先生のご理解によって、非常勤病理技師の配置、1993年に病理検査室が設置され、病理検査が病院の業務として認知されて再出発してきました。病院統合後、歯科病理検査室は新潟大学医歯学総合病院病理部のなかに置かれ、診断業務に適応する最新設備を整え、本学では四人の口

腔病理認定医・専門医を輩出し、常勤の専門医が中心となって、歯科診療各科で取り扱う炎症から嚢胞、腫瘍までの多様な疾患について、細胞診・組織診、手術中の迅速診断や剖検を担当しています。定期的な診断検討会を開き、治療方針の決定から治療効果判定までに必要な口腔病理診断業務を担って、科学的根拠に基づいた精度の高い病理診断を通して本学医歯学総合病院と地域の歯科医療に貢献するべく日々努力を重ねています。近年は、バーチャルスライドシステムを導入し、国際的にも先進的な資料管理と病理・臨床資料共有環境を構築できたと自負しています。また、歯科病理検査室では、歯学部学生の臨床教育も担当し、「病理検査のオーダーができる歯科医師」を育成するために病理学臨床実習の場としても機能しています。

現在、構成員は以下の8名で、全員が献身的に結束して、従前以上の高い成果を目指していますが、病理診断業務の仕事量増加による慢性的な人手不足のため、思うに任せない状況もあります。

構成員名簿

准教授

程 珺 (Cheng Jun)

講師 (病院)

丸山 智 (Maruyama Satoshi)

助教

山崎 学 (Yamazaki Manabu)

医 員 (病院)

阿部達也 (Abe Tatsuya)

大学院学生

ハムザ バブカイル (Hamzah Babkair) (4年)

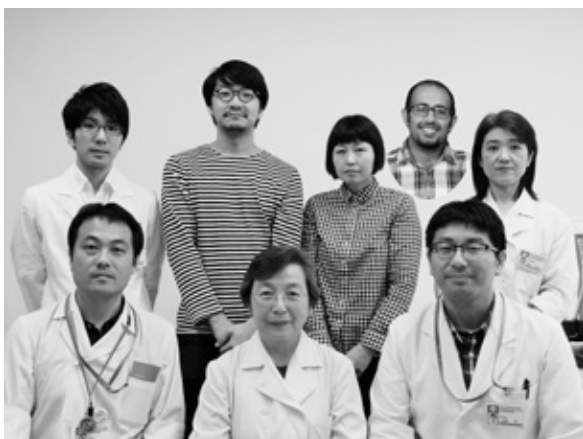
隅田賢正 (Sumita Yoshimasa) (3年)

技術補佐員 (病院)

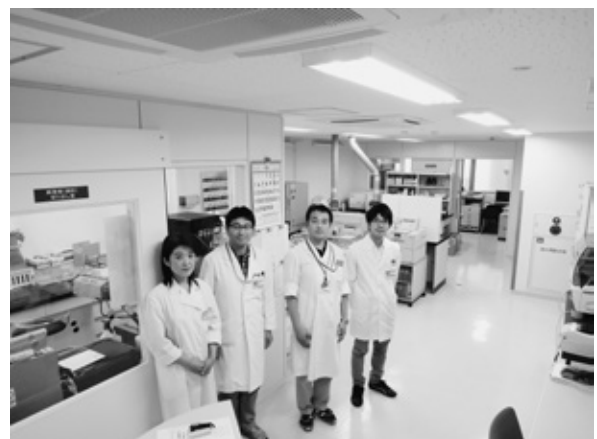
堀内志津子 (Horiuchi Shizuko)

技術補佐員

高橋由紀 (Takahashi Yuki)



口腔病理学分野構成員(2016年6月6日)



病理部(歯科担当)・歯科病理検査室(2016年6月6日)